科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	日本語学文献講読論I Reading in the Document of Japanese Philology I			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　佐野　宏		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	火4	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

日本語の歴史記述の方法について概説し、基礎的な日本語史研究の知識を身につけることを目的とする。最初に日本語史研究の課題を掲げて概説し、その課題についての資料や論考を講読する。

[到達目標]

日本語史研究に関する基礎的な用語や問題点について、関連事項や関連作品とともに説明できること。

[授業計画と内容]

本講義は、各時代語の実際と概説、後期は分野別の日本語史研究について扱う。日本語史研究には日本文学史の知識が必須であるから、その時代の文学史についても概説を行う。

１　日本語史について（導入：１回）
２　上代語概説・上代文学史（３回）
３　中古語概説・中古文学史（３回）
４　中世語概説・中世文学史（３回）
５　近世語概説・近世文学史（４回）

全14回で日本語史について概説を行う。概ね時代ごとに解説するが、音韻や文法などは通時的に観察すべきことがらについては、そのトピックスで各時代にわたって概説することがある。

[履修要件]

日本語史についての基礎知識が必要になるので、言学Ⅰ、Ⅱを受講していることが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

講義期間の最終日に基礎的な事項の確認試験を行う（60%）。時折、講義中に小テストを行うほか、授業への積極的な参加度（40%）を総合的に加味して評価する。

[教科書]

小野正弘他 『ケーススタディ日本語の歴史』（おうふう）ISBN:4273032678（テキストだけでは不足するので、プリントも併用する。）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

日本語学文献講読論I(2)へ続く↓↓↓

日本語学文献講読論I(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

前期は主として日本語史の枠組みと各時代の特徴を述べるが、プリントを配付して、課題を出す。課題に取り組む形で復習と予習ができるようにする。

[その他（オフィスアワー等）]

木曜日４限をオフィスアワーにあてる。会議等で不在の場合もあるから必ず事前に確認すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]